

広報 清内路



村政かわら版

清内路村役場

〒395-0401

清内路村 375-1

TEL: 0265-46-2001

FAX: 0265-46-2016

E-mail: info@seinaiji.jp



か やらまい改えまい懇談会発足



これからの村づくりについて熱心な討論が繰り広げられました

第1回懇談会開催

かねてから委員を公募しておりました「やらまい改えまい懇談会」は、3月29日(火)、15名の委員が集まり、第1回懇談会を役場会議室で開催しました。

役場からの押し付けでない、村民の皆様の話し合いによる納得すぐでの提案が今後なされていきます。

懇談会の定員は21名であり、今後も引き続き委員への応募を受け付けております。村をどうにかしたい、というお気持ちの方、どうぞよろしくお願いいたします。

**会長に弘志さん
副会長に勇二さん
と京子さんを選出**

懇談会は、まず、会長、副会長の人選を行いました。

主なご意見

- ・馬力のある年代にやってもらいたい
- ・若い人の中でこれから村を背負っていける人がよい
- ・会務に専念するため仕事を

持つていない人がよいのでは？

・仕事を持つていても時間は調整できる

・以前、懇談会でよい発言をされていた弘志さんをお願いしたい

・副会長は男女1名ずつの2名でどうか

結果

挙手による投票が行われ、会長に桜井弘志さん、副会長に原勇二さんと原京子さんが選出されました。

今後の進め方

各委員さんからご提言をいただき、その内容に基づき、次回(4月中)、分科会をつくることとしました。その他、この懇談会の進め方について話し合いがなされました。

主なご意見と結果

- ・懇談会の定員は21名なので委員が声をかけて21名まで増やしてはどうか
- ・21名とは、分科会でよい意見が出やすい7名くらい×3分科会ということ定めたもの。とりあえずは現状の人数で進めていただ

た方がよいのでは？（事務局）

- ・当面 15 名で進めるが、引き続き応募者があれば参加していただく
- ・村民の中に飛び込んでいて委員がよい意見を聞いてくる、ということが必要ではないか
- ・明治の時分、たばこに目をつけて清内路の地は潤った。かつてはやる気を持った人が多かったはずだ
- ・清内路の人は怒っているが村が好きだからこそ。井戸端会議などの意見も採り上げる必要がある
- ・とりあえず提案してすぐできることから始めたい。身近なテーマから話すのがよい。合併となっても清内路は残る。今の暮らしの中でやるべきこと、守るべきことを考えたい（事務局）
- ・多くのテーマが出されたらどうするか
- ・テーマが多くても大きく 2 つ程度に分類して分科会をつくりたい（事務局）
- ・決して他人の批判をせず、自由な意見から提案を導き出すことが大事

現状と問題点

- ・村財政が逼迫する中、行政の力のみで地域の支え合いを維持していくことはもはや不可能です。

懇談に先立ち、事務局からは、次のとおり村民（懇談会）と役場の関係についてご説明しました。

会議資料から（懇談会の役割）



- ・2 年任期だがスケジュールは半年になっていく
- ・予算に反映されるものもあるので 1 年単位でまとめるという意味（事務局）
- ・あまり重く考えないで身近なことから考えてほしい
- （事務局）
- ・こんなことは良いか悪いかよりこんなことをしたら良いという意見を出そう

- ・村民の村政への主体的参加が求められていますが、村民と役場の接点が少なく、村政への住民参加が進んでいません。
- ・今までにない住民負担を強いる平成 17 年度予算編成に伴い、村民の中に村政への参加意欲が高まりつつあります。

懇談会に期待される役割

- ・役場依存主義から脱却し、自分達が考え村民が一丸となって地域を支え合うシステムの構築（予算のかわらない手作り事業等）
- ・役場が方向性を示すのではなく、委員自らが考え、提案し、施策を具体化していくこと

そして、事務局では村民（懇談会）と役場の関係を下図のようにイメージしています。

創刊に当たって

広報清内路の身近な速報版として「村政かわら版」を創刊します。懇談会に限らず村政をわかりやすいものとするために努力してまいりますのでよろしく願います。

村民（懇談会）と役場の関係

（イメージ図）

